

古文 願望表現（ばや・なむ・てしがな・もがな）100題ドリル | 無料PDFと解答付き 解答・解説編

【第1部】基礎編（Q1～Q20）

- Q1. 答え：願望（自己）「ばや」 解説：「学ば」未然＋「ばや」。「古典を学びたい」。
- Q2. 答え：願望（他者）「なむ」 解説：「咲か」（四段「咲く」未然形）＋「なむ」。未然形＋「なむ」＝他者願望。「春の野花よ、さあ咲いてほしい」。
- Q3. 答え：願望「もがな」 解説：体言「世」＋「もがな」。「命の長い世があればなあ」。
- Q4. 答え：自己強願望「てしがな」 解説：「究め」連用＋「てしがな」。「私も古典を究めたいなあ」。
- Q5. 答え：願望（自己）「ばや」 解説：「学ば」（四段「学ぶ」未然形）＋「ばや」。「私は古典を学びたい」。自己の動作に対する願望。
- Q6. 答え：願望（他者）「なむ」 解説：「来（こ）」未然＋「なむ」。「君も来てほしい」。
- Q7. 答え：願望「もがな」 解説：体言「千代」＋「もがな」。「千代もあればなあ」。古今集の歌より。
- Q8. 答え：願望（自己）「ばや」 解説：「祈ら」未然＋「ばや」。「仏に祈りたい」。
- Q9. 答え：自己強願望「てしがな」 解説：「生き」連用＋「てしがな」。「心安く生きたいなあ」。
- Q10. 答え：願望（自己）「ばや」 解説：「見」未然＋「ばや」。「月を見たい」。
- Q11. 答え：（識別注意）願望「なむ」 or 完了「ぬ」未然＋推量「む」 解説：「隠れ」未然なら願望、連用なら完了。下二段「隠る」の未然・連用は「隠れ」で同形。文脈で判断。「月が隠れてほしい」（願望）or「月が隠れるだろう」（完了未然＋推量）。
- Q12. 答え：願望「もがな」（存在願望） 解説：体言「友」＋「もがな」。「心ある友があればなあ」。体言＋もがなの典型。
- Q13. 答え：願望（自己）「ばや」 解説：「見」未然＋「ばや」。「古き友を見たい」。
- Q14. 答え：自己強願望「てしがな」 解説：「究め」連用＋「てしがな」。「古典を究めたいなあ」。
- Q15. 答え：願望（自己）「ばや」 解説：「眠ら」（四段「眠る」未然形）＋「ばや」。「私は静かに眠りたい」。自己の動作に対する願望。
- Q16. 答え：願望（他者）「なむ」 解説：「降ら」未然＋「なむ」。「春雨が降ってほしい」。
- Q17. 答え：願望「もがな」 解説：体言「人」＋「もがな」。「心ある人があればなあ／いればなあ」。
- Q18. 答え：願望（自己）「ばや」 解説：「通は」未然＋「ばや」。「心が通ったらいいな」。
- Q19. 答え：自己強願望「てしがな」 解説：「歩み」連用＋「てしがな」。「古典の道を歩みたいなあ」。
- Q20. 答え：願望「もがな」 解説：体言「白さ」＋「もがな」。「雪の白さがあればなあ」。

【第2部】標準編（Q21～Q50）

- Q21. 答え：願望（自己）「ばや」 解説：「見」未然＋「ばや」。「都を見たいと思う」。
- Q22. 答え：願望（他者）「なむ」 解説：「止ま」未然＋「なむ」。「雨が止んでほしい」。
- Q23. 答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 解説：「散り」連用＋「なむ」。連用接続なので完了「ぬ」未然「な」＋推量「む」。「花が散ってしまうだろう」。
- Q24. 答え：願望「もがな」 解説：体言「世」＋「もがな」。「老いない世があればなあ」。古今集風の存在願望。

- Q25. 答え：自己強願望「てしがな」 解説：「仕へ」連用＋「てしがな」。「帝にお仕えしたいなあ」。
- Q26. 答え：願望（自己）「ばや」 解説：「読ま」未然＋「ばや」。「お経を読みたい」。
- Q27. 答え：願望（他者）「なむ」 解説：「啼か」未然＋「なむ」。「鳥が鳴いてほしい」。
- Q28. 答え：願望「がな」 解説：体言「友」＋「がな」（もがなの「も」省略形）。「古い友があればなあ」。
- Q29. 答え：願望（自己）「ばや」 解説：「出で」（下二段「出づ」未然）＋「ばや」。「旅に出たい」。
- Q30. 答え：自己強願望「にしがな」 解説：「見」連用＋「にしがな」。「てしがな」とほぼ同義。「古き世を見たいなあ」。
- Q31. 答え：願望（他者）「なむ」 解説：「和らが」（四段「和らぐ」未然形）＋「なむ」。未然形＋なむ＝他者願望。「風が和らいでほしい」。
- Q32. 答え：願望（自己）「ばや」 解説：「尽くさ」未然＋「ばや」。「心を尽くしたい」。
- Q33. 答え：願望「もがな」 解説：体言「春」＋「もがな」。「早く春があればなあ」。
- Q34. 答え：自己強願望「てしがな」 解説：「住み」連用＋「てしがな」。「都に住みたいなあ」。
- Q35. 答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 解説：「降り」連用＋「なむ」。連用接続なので完了＋推量。「雨が降ってしまうだろう」。
- Q36. 答え：願望（自己）「ばや」 解説：「告げ」（下二段未然）＋「ばや」。「人にも告げたい」。
- Q37. 答え：願望「もがな」 解説：体言「もの」＋「もがな」。「心を慰めるものがあればなあ」。
- Q38. 答え：願望（他者）「なむ」 解説：「照ら」未然＋「なむ」。「月が明るく照ってほしい」。
- Q39. 答え：願望（自己）「ばや」 解説：「見」未然＋「ばや」。「ひと目見たい」。
- Q40. 答え：自己強願望「てしがな」 解説：「遊び」連用＋「てしがな」。「心ゆくまで遊びたいなあ」。
- Q41. 答え：願望（他者）「なむ」 解説：「止ま」（四段「止む」未然形）＋「なむ」。未然形＋なむ＝他者願望。「雨が止んでほしい」。
- Q42. 答え：願望（自己）「ばや」 解説：「会は」未然＋「ばや」。「もう一度会いたい」。
- Q43. 答え：願望「もがな」 解説：体言「願ひ」＋「もがな」。「三世の願いがあればなあ」。
- Q44. 答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 解説：「降り」連用＋「なむ」。「雪が降ってしまうだろう」。
- Q45. 答え：願望（自己）「ばや」 解説：「出で」（下二段未然）＋「ばや」。「春の野に出たい」。
- Q46. 答え：自己強願望「てしがな」 解説：「書き」連用＋「てしがな」。「手紙を書きたいなあ」。
- Q47. 答え：願望（他者）「なむ」 解説：「来（こ）」未然＋「なむ」。「君が来てほしい」。
- Q48. 答え：願望「もがな」 解説：体言「世」＋「もがな」。「心安らかな世があればなあ」。
- Q49. 答え：願望（自己）「ばや」 解説：「眠ら」未然＋「ばや」。「しばらく眠りたい」。
- Q50. 答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 解説：「吹き」連用＋「なむ」。「風が吹いてしまうだろう」。連用接続→完了＋推量。

【第3部】応用編（Q51～Q80）

- Q51. 答え：願望（自己）「ばや」 解説：「忘れ」（下二段未然）＋「ばや」。「何事も忘れたいと思う」。
- Q52. 答え：願望（他者）「なむ」 解説：「散ら」未然＋「なむ」。下文に「惜しからむ」とあり、散らないでほしい願いが裏に。文脈で願望と判定。

- Q53. 答え：係助詞「も」＋「ぞ」（危惧） 解説：「もぞ」は係助詞「も」＋「ぞ」で危惧の意。「もがな」ではない。識別の引っかけ。なお「絶えね」の「ね」は完了「ぬ」命令形。
- Q54. 答え：願望（自己）「ばや」 解説：「待た」未然＋「ばや」。「春を待ちたい」。
- Q55. 答え：自己強願望「てしがな」 解説：「生き」連用＋「てしがな」。「千年も生きたいなあ」。
- Q56. 答え：願望（他者）「なむ」 or 完了＋推量 解説：「来」が未然「こ」なら願望、連用「き」なら完了＋推量。仮名表記で「来なむ」のとき、文脈の願望意でとれば願望。
- Q57. 答え：願望「もがな」 解説：体言「志」＋「もがな」。「君と同じ志があればなあ」。
- Q58. 答え：願望（自己）「ばや」 解説：「伝へ」（下二段未然）＋「ばや」。「あの人に伝えたい」。
- Q59. 答え：願望（他者）「なむ」 解説：「吹か」未然＋「なむ」。「風が吹いてほしい」。
- Q60. 答え：自己強願望「てしがな」 解説：「かかり」連用＋「てしがな」。「お目にかかりたいなあ」。
- Q61. 答え：願望（自己）「ばや」 解説：「帰ら」未然＋「ばや」。「京に帰りたい」。
- Q62. 答え：願望「もがな」 解説：体言「人」＋「もがな」。「心動かす人があればなあ」。
- Q63. 答え：願望（他者）「なむ」 解説：「たまは」（四段尊敬「給ふ」未然）＋「なむ」。敬語連動の他者願望。「お身体安らかでいらっしやってほしい」。
- Q64. 答え：願望（自己）「ばや」 解説：「居ら」（う変「居り」未然）＋「ばや」。「ひとりでいたい」。
- Q65. 答え：自己強願望「てしがな」 解説：「見」連用＋「てしがな」。「都の様子を見たいなあ」。
- Q66. 答え：願望（他者）「なむ」 解説：「届か」未然＋「なむ」。「お手紙が届いてほしい」。
- Q67. 答え：願望「もがな」 解説：体言「夜」＋「もがな」。「風静かな夜があればなあ」。
- Q68. 答え：願望（自己）「ばや」（敬語連動） 解説：「させ給は」（使役・尊敬「させ」＋四段尊敬「給ふ」未然）＋「ばや」。「ご覧に入りたい」と尊敬を交えた自己願望。
- Q69. 答え：（識別注意）願望「なむ」 or 完了＋推量 解説：「晴れ」は下二段「晴る」の未然・連用同形。文脈で判別。雲を遠ざけたい意なら願望「雲が晴れてほしい」。
- Q70. 答え：自己強願望「てしがな」 解説：「語らひ」連用＋「てしがな」。「この人と語り合いたいなあ」。
- Q71. 答え：願望（自己）「ばや」 解説：「書か」未然＋「ばや」。「手紙を書きたいと思うけれど、暇がない」。
- Q72. 答え：願望（他者）「なむ」 解説：「続か」未然＋「なむ」。「御代が長く続いてほしい」。
- Q73. 答え：願望「もがな」 解説：体言「花」＋「もがな」。「春ごとの花があればなあ」。
- Q74. 答え：願望（自己）「ばや」（謙譲連動） 解説：「侍ら」（う変「侍り」未然、謙譲）＋「ばや」。「お供に控えたい」と謙譲を交えた自己願望。
- Q75. 答え：自己強願望「てしがな」 解説：「入り」連用＋「てしがな」。「御簾の中に入りたくないなあ」。
- Q76. 答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 解説：「止み」連用＋「なむ」。「風が止んでしまうだろう」。連用接続→完了＋推量。
- Q77. 答え：願望（自己）「ばや」（謙譲連動） 解説：「奉ら」（四段「奉る」未然、謙譲）＋「ばや」。「お手紙を差し上げたい」。
- Q78. 答え：願望「もがな」 解説：体言「友」＋「もがな」。「いつまでも変わらない友があればなあ」。
- Q79. 答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 解説：「過ぎ」（上二段連用）＋「なむ」。連用接続→完了＋推量。「桜の盛りが過ぎてしまうだろう」。
- Q80. 答え：願望（自己）「ばや」 解説：「学ば」未然＋「ばや」。「古今の和歌を学びたい」。

【第4部】入試レベル（Q81～Q100）

- Q81. 答え：願望（自己）「ばや」（謙譲連動） 解説：「かから」未然＋「ばや」。下に謙譲「申す」を伴う。「お目にかかりたいと申し上げる」。
- Q82. 答え：願望（他者）「なむ」 or 完了＋推量 解説：「栄え」（下二段「栄ゆ」連用・未然同形）。祈願文脈なら願望「栄えてほしい」、予測文脈なら完了＋推量「栄えるだろう」。
- Q83. 答え：自己強願望「てしがな」 解説：「伝へ」（下二段連用）＋「てしがな」。「古典の本意を伝えたいなあ」。
- Q84. 答え：願望「もがな」 解説：体言「心」＋「もがな」。「風雅の心があればなあ」。
- Q85. 答え：願望（自己）「ばや」（謙譲連動） 解説：「奏せ」（サ変「奏す」未然、絶対敬語）＋「ばや」。「帝に奏上したい」。
- Q86. 答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 解説：「舞ひ」（四段連用）＋「なむ」。「御前にて舞ってしまうだろう」。連用→完了＋推量。
- Q87. 答え：願望（自己）「ばや」 解説：「上げ」（下二段「上ぐ」未然）＋「ばや」。「御簾を上げたい」。
- Q88. 答え：自己強願望「てしがな」 解説：「かき」連用＋「てしがな」。「お手紙を書きたいなあ」。
- Q89. 答え：願望（他者）「なむ」 解説：「来（こ）」未然＋「なむ」。「春は早く来てほしい」。
- Q90. 答え：願望「もがな」 解説：体言「松」＋「もがな」。「千年の松があればなあ」。
- Q91. 答え：願望（自己）「ばや」 解説：「清め」（下二段未然）＋「ばや」。「お身体を清めたい」。
- Q92. 答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 解説：「果て」（下二段連用）＋「なむ」。「暮らし果ててしまうだろう」。
- Q93. 答え：自己強願望「てしがな」 解説：「生まれ」連用＋「てしがな」。「古き世に生まれたかったなあ」。反実仮想に近い感慨。
- Q94. 答え：願望（自己）「ばや」 解説：「思は」（四段未然）＋「ばや」。「いとおしいと思いたい」。
- Q95. 答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 解説：「出で」（下二段連用）＋「なむ」、さらに連体形相当で「を」を取る。「月が出るのを待つ」。連用→完了＋推量。
- Q96. 答え：願望「もがな」 解説：体言「才」＋「もがな」。「すばらしい才能があればなあ」。
- Q97. 答え：願望（自己）「ばや」 解説：「上ら」未然＋「ばや」。「都に上りたいと思いつ」。
- Q98. 答え：自己強願望「てしがな」 解説：「従ひ」連用＋「てしがな」。「お供に従いたいなあ」。
- Q99. 答え：完了「ぬ」未然＋推量「む」 解説：「叶ひ」連用＋「なむ」。「思うことが叶うだろう」。連用→完了＋推量。
- Q100. 答え：「ばや」自己願望／「なむ」他者願望／「てしがな」自己強願望／「もがな」存在願望 解説：4種すべてが一文に。「都を見たい／御代が久しくあつてほしい／心安く生きたいなあ／よい友があればなあ」。願望表現総合問題。